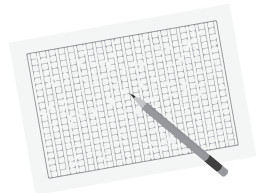




風のスタジオ情報



いわて震災小説 2021 作品募集のお知らせ

震災及び震災後の風土や心象、人々の日々の営みなどをテーマにした「短編小説」を執筆してみませんか？お寄せいただいた作品の中から選考された数編を入選作品集「いわて震災小説 2021」として発行いたします。また、来年 3 月 7 日に盛岡で開催予定の「いわて文化復興支援フォーラム」の中で朗読劇として上演いたします。

応募資格 岩手県在住者、在住経験者、出身者など岩手ゆかりの方
概要 東日本大震災以降に書かれ、震災及び震災後の風土、社会の移り変わりの中で生きる人々の営み、心象などをテーマにした未発表の短編小説。

応募規定 400字詰原稿用紙換算15枚～30枚の小説。
応募は1人1編。原稿用紙(400字詰)の郵送またはメールにて受付。ただし、すべて縦書きとし、メールはWordによる添付文書とすること。次の事項を明記した別紙を添付すること。

- ①作品題名 ②筆名(本名) ③生年月日・年齢・性別
- ④職業または学校名 ⑤住所・電話番号
- ⑥岩手県在住以外の方は岩手との関わり合いを付記

応募締切 10月31日(土)消印有効

発表 12月予定 いわてアートサポートセンターHP上にて発表

選考委員 池田克典氏(元岩手県文化振興事業団理事長)
柏葉幸子氏(児童文学作家)
斎藤 純氏(作家)
外岡秀俊氏(作家・元朝日新聞社東京本社編集局長)
※五十音順

応募先 〒020-0878岩手県盛岡市肴町4-20永卯ビル3階
いわてアートサポートセンター内
「いわて震災小説2021」係

【開催中止】

第23回盛岡町家 de 手づくり市 てどらんど

10月10日(土)・11日(日)に開催を予定していた「第23回盛岡町家 de 手づくり市てどらんど」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域住民の皆様、参加者及び関係者の皆様の健康・安全を第一に考慮し開催を中止いたします。

関係者の皆様、ご来場を予定されていた皆様にご迷惑をおかけし申し訳ありませんが、ご理解ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

お問合せ もりおかワカものプロジェクト
E-mail: morioka_wakamono_project@yahoo.co.jp

鉤屋町界隈
イベント情報



ブログ

発行者 特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

【本部】

〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 南大通ビル3階
TEL (019)656-8145 FAX (019)656-8146
E-mail info@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp

本部・風のスタジオ HP

【肴町事務所・風のスタジオ】

〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp URL http://iwate-arts.jp
〈窓口営業時間〉火・水・金 10:00～18:30 木・土 10:00～17:00
〈施設利用可能時間〉9:30～21:30

もりおか町家物語館 HP

【もりおか町家物語館】

〒020-0827 岩手県盛岡市鉤屋町10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp URL http://machiya.iwate-arts.jp
〈開館時間〉9:00～19:00(最終入館 18:30) ※浜藤ホールのみ利用時は21:30まで
〈休館日〉毎月第4火曜(休日の場合はその翌日) 年末年始 12/29～1/3
〈入館料〉無料 ※一部企画展は有料の場合があります。



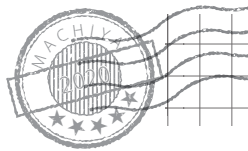
10

もりおか町家・風の通信



10月10日(土)・11日(日)

第7回浜藤古本市を開催します



もりおか町家物語館



浜藤古本市

はまとうふるほんいち

開催日時

10月10日(土)・11日(日)
10:30～15:00

会場 もりおか町家物語館 浜藤ホール

古本をはじめ、しおりなどの読書グッズなどを販売いたします。ぜひお越しください。



MACHIYART2020

第46回 盛岡彫刻シンポジウム 野外展

「彫刻のある街と市民文化の推進を願う」をテーマとした展示です。ぜひ、ご覧ください。

会期 9月26日(土)～10月18日(日) 入場無料

会場 もりおか町家物語館 風の広場

主催 盛岡市、盛岡彫刻シンポジウム実行委員会、
NPO法人いわてアートサポートセンター

MACHIYART2020 エニナルモリオカ

【作品募集のお知らせ】

盛岡を表現した絵画・版画・写真作品（2L～S4号サイズ以内）を募集します。

募集期間 11月1日(日)～11月7日(土)

作品展示 11月20日(金)～12月6日(日)

会場 もりおか町家物語館 母屋

(母屋・文庫蔵1階・他)



※詳細は、当館・市内各所に配架のほか、当館ホームページに掲載の募集要項をご確認ください。

問合せ TEL:019-654-2911 もりおか町家物語館

◆弦楽器の学校

REPORT

昨年ご好評いただいた楽器体験イベント「弦楽器の学校」、今年も岩手県管弦楽連盟代表の寺崎巖さん、いわてフィルハーモニーのチェロ奏者・三浦祥子さんを講師にお迎えして、9月5日(土)に開催いたしました。体に合ったサイズのバイオリンを独り占めできる人気企画ということで、今回も3歳から83歳まで幅広い年齢層の方々にご参加いただき、2時間でしたがとても充実したプログラムで、「これを機に本格的にバイオリンを習いたい!」という声もたくさんいただきました。講座の最後には講師陣やもりおかジュニアオーケストラの方々と参加者全員でパッヘルベルの「カノン」を合奏。ソーシャルディスタンスの確保やマスク着用など、これまでと異なる状況下での開催でしたが、一体感のある楽しいイベントとなりました。

鉤屋町・大慈寺町界限 おもいで写真展

【展示写真募集のお知らせ】

鉤屋町・大慈寺町界限で、明治～昭和頃に撮影した思い出の写真を募集します。合わせて写真にまつわる思い出もご提供ください。ご提供いただいた写真はその場で画像データとしてパソコンに取り込み、写真自体はお返しします。詳細は当館ホームページまたは当館・鉤屋町界限に配架のチラシをご覧ください。写真の展示は令和3年1月16日(土)～3月7日(日)の予定です。

カフェ DOMA

海の街からやってきました(5人展)

9月7日(月)～10月31日(土)
(最終日16:00まで)

海の街 宮古からやってきた5名の展覧会です。

＜出品者＞

加村なつえ、盛合崇、澤田学、坂下晴香、黒田萌



営業時間 / 10:30～16:00 ※(火)(水)はドリンクのみ提供
カフェの営業時間外も、施設開館中は見学可能です。(10月27日は休館日)
臨時休業の場合もございます。営業時間はホームページ等でご確認ください。

リレーコラム No.51

お茶を聴く

今年も、もりおか町家物語館にて「もりおかお茶の学校」を開催します。三年目の開催ですが、ウィルス感染予防のため、前回までとはかなり趣の違う会になると思います。

まず、一つのテーブルを7人で囲んでいたのを、今回は部屋いっぱいに離れ離れに座っていただきます。また、おしゃべりしながらお茶とお菓子を楽しんでいただきましたが、今回は、お茶やお菓子を楽しむ場面と、お茶の感想などお話を楽しむ場面を分け、発言の際にはマスクを着けていただきます。離れて座ったり、話ができないなんて、なんだか堅苦しくて落ち着かない、と思う方もいらっしゃるかもしれません。でも私はこの会を「お茶を聴く」という新しい趣向としてご案内したいと思っているのです。

「お茶を聴く」…。耳慣れない言葉かもしれません。静寂の中に、鳥の声を聴くように、耳を澄まし心を澄まして、お茶の余韻を「聴く」ように受け取る飲み方をそう名付けてみました。身体に響くお茶の余韻を静かに丁寧に感じるプロセスそのものが、体と心を緩め、リラックスを誘うものだと感じています。お茶を飲み下し、続く余韻を自分の内で感じる時間は、瞑想にも似た体験かもしれません。

お茶を飲む、というのとは、ずいぶんとかけ離れたイメージでしょうか。いえ、皆と一緒に飲んでも、本当は、一人一人固有の心身の内側で、お茶と出会います。一方で、一同に会して同じ急須のお茶を分かち合って飲む時、お茶の味わいは、同席の皆様が作り上げる場の気によって、その場にしかないものとなります。そして、同じ空間に一緒に茶を飲む人がいるからこそ、安心してそれぞれの内側を深く感じ取ることができるのだと思います。

当日は、岩手のお茶や中国のプーアル茶などを淹れます。この試みが、いろいろな種類のお茶を「知る」ことに留まらず、より深いお茶の喜びにつながっていくことを、心から祈っています。

焙茶工房しゃおしゃん 前田千香子